

1 題材名 冬の楽しみ～たんぽぽ温泉に行こう～③

2 目標

- (1) お湯やホット小麦粉粘土などの温かな感触に触れ、感じた気持ちを表情や体の動きで表す。
- (2) 教師や友達と一緒に活動している雰囲気を感じ、教師の声や友達の動きに意識を向ける。

3 学習過程

時 間	活動内容	指導上の留意点等	準備物
10 : 45	1 あいさつをし、今日の学習について話を聞く	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今日もみんなで温泉に行く（3回目）ことを伝える。</li> <li>・緊張を緩和し、安心感を持てるように、温泉はどんな所だったか、どんな所が温かくなったかを振り返りながら、手や足などを手の温かさが伝わるように、さすったり握ったりする。</li> </ul>	じゅうたん
10 : 55	2 温泉へ向かう ・テーマソング 「温泉に行きましよう」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・温泉に向かい移動していることがわかるように体を揺らしながら歌う。</li> <li>・歌の速度によって揺れ方にも変化をもたせるようにする。（A）は体に触れるタッピングの速度で変化をもたせるようにする。</li> </ul>	CDデッキ CD
11 : 00	3 温泉を体験する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・温泉へ到着したことが感じられるように、湯が流れる効果音を流す。すぐに言葉を掛けず、視線の動きや口や手の動きを見て、聴いている様子が見られたら、「お湯の音が聴こえるね」などの言葉掛けをするようにする。</li> </ul>	延長コード のれん・看板 ポール4本 湯の入った袋 入浴剤
	①足湯に見立てた3種類の湯  (A) 湯の入った袋 (B) 入浴剤入り (C) エステゼリー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実態に合った足湯を選び、Tと一緒にじっくりと感触を味わう。驚くことがないように、手で湯加減を確認してから足を触れるようにする。</li> <li>・じっくりと感触を味わえるように言葉掛けを少なくし、表情や体の動きが見られたら「あったかいね。」「これ好きなの？」など、様子に沿って言葉掛けをしかかわるようにする。</li> </ul>	エステゼリー 湯入りたらい2 保温シート 足拭きタオル2
	②大浴場に見立てたウォーターベッド (足) ホット小麦粉粘土 (顔) カイロ (全身) 毛布	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大浴場への場面転換が感じられるように、湯が流れる効果音を流す。</li> <li>・カイロ等の温かさを感じられるように、プールのお湯は熱過ぎない温度に設定する。</li> <li>・揺れの大きさに変化をもたせ、お湯が揺れている様子を表す。</li> <li>・友達の動きが感じられるように、両脇の(A)(C)から刺激を与え、最後に中央の(B)に刺激を与えるようにする。</li> <li>・温かい刺激を受けて表情や体の動きが見られたら、様子に沿って気持ちを代弁するように言葉を掛け、他の児童にも様子を伝える。</li> <li>・足、顔、全身と徐々に温泉で体が温まっていくことが感じられるように順番に刺激を与え、最後に毛布をかける。</li> </ul>	プール バスタオル3 保温シート 湯の入った袋 15 ホット小麦粉粘土 カイロ 毛布
11 : 25	4 感想発表	<ul style="list-style-type: none"> <li>・声ができる方に視線を向けたり、聴いている様子が見られるかを見守る。</li> </ul>	
11 : 30	5 おわりのあいさつをする	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次回は露天風呂に行くことを伝え、次時への期待感をもてるようにして終わる。</li> </ul>	